



第九たいむず

Beethoven

No.37 2016.3.3 通刊1179号 担当 Kei

ホームページ: www.takasaki9.com メールアドレス: takasaki9@myad.jp

〒370-0863 高崎市聖石町9-13(赤羽方) TEL/FAX: 027-322-0996 緊急 090-1828-8052(小野里)



今日は3月3日、桃の節句です。いよいよこれからが春本番、気分もうきうき。メイコンサートに向けて盛り上げていきましょう！

◆ ドイツ公演記念誌出版パーティ 3月12日(土)18:00～ in メトロポリタン高崎

先週、出版パーティーの申込書をお配りしましたが、「出席」「欠席」「お名前」をご記入の上、参加される場合は会費を添えてお申し込みください。なお、欠席の方も必ず提出願います。

(アルコール飲料を飲まれる方: 5,000円。飲まれない方: 4,000円です。)

なお、当日より3日前(9日)以降のキャンセルは返金できませんので予めご承知おきください。

また海外公演参加者には、記念誌を1冊ずつ団よりプレゼントいたします。参加できなかったけれど、欲しい方、参加者でもさらに欲しいという方には1冊1,000円で販売致します。

◆ 特別練習追加のお知らせ(ソリストとの合わせ)

すでに4月10日の特別練習は予定されておりますが、さらに赤羽先生のご厚意により、**5月5日(木)**の通常練習の前に、なんと**16:00～18:00**にも**特別練習**をしていただけることになりました。この日(5月5日)はソリストである出来田さんもお参加くださる予定です。連休中ではありますが、ぜひ万障お繰り合わせのうえご参加ください。(4月10日の昼食は各自でご用意ください。)

◆ 上記土日祝日の特別練習に有利な駐車場料金のご案内

先日値上げのあった練習会場隣裏、銀杏並木通りの「三井のリパーク」駐車場の料金が、土日祝日最大料金300円となっています。5月5日(木)のメイコンサート特別練習時にご利用されてはいかがでしょうか。(赤羽先生に見つけていただきました)

◆ メイコンサートの出欠確認をします

出席簿5月15日の欄に、メイコン本番当日出演できる方は「○」を、出られない方は「×」を、わからない場合は「△」を、本日までに記入してください。

◆ メイコンサートのチケット配布について

現在メイコンサートチケット、チラシを鋭意作成中です。チケットができあがりましたら出演者の皆さまに20枚ずつお渡しします。(代金8,000円と引き換えです)

額面は1枚1,000円です。追加で欲しい場合は受付にて1枚400円でお渡しします。できるだけたくさんのお知り合いに声掛けをし、大勢のお客様に来ていただきましょう。

◆ 2016団員登録受付中です！

新年度の団員登録の申込みを受け付けています。申込書に「氏名」「住所」のほか「メールアドレス」や「電話番号」など全て記入してください。記入漏れがあると本人に確認するなど事務局の手間がかかってしまいますので、ぜひ御理解と御協力をお願い致します。また、「メールアドレス」や「電話番号」などに変更があった場合には、必ず早めにパートリーダーにお知らせください。怠ってしまいますと緊急連絡が届かないことがありますので宜しくお願いします。

◆ 本日は駐車料金の精算日です

本日は3月第1週になりますので、駐車料金精算を受け付けます。

◆ 今後の予定<メイコンまで木曜の通常練習を21:00迄に延長します>

- 3月12日(土) 記念誌出版記念パーティー(ホテルメトロポリタン高崎)
- 4月10日(日) メイコンサート特別練習(高崎市中央公民館) 10:00~16:00(昼食各自持参)
- 5月5日(木) **メイコンサート特別練習(練習会場) 16:00~18:00**(18:45~の通常練習もあり)
- 5月15日(日) メイコンサート(群馬音楽センター)
- 5月19日(木) 総会、ミニコンサート(練習会場)
- 5月26日(木) 練習お休み

◆ イベント情報

- ★ たまごコンサート 3月13日(日)13:30開場 14:00開演 新町文化ホール
出演:トリオ・アンファリア 全席自由 1,000円 チケットはプレイガイドでお求めください。
詳細は、チラシを参照してください。
- ★ 「邦楽春の祭典2016」 4月17日(日)13:00開演 高崎市文化会館 無料(チャリティ募金有り)
バス大里さんが所属する、NPO三曲合奏研究Gの第23回定期演奏会です。群馬県唯一の邦楽合奏団の演奏会です。日頃聞き慣れない邦楽を如何ですか?チラシを参照してください。
- ★ 北大OB会「第9回クラーククラブコンサート」4月23日(土)14:00開演
大田区民ホールアプリコ大ホール(JR蒲田駅徒歩5分)
演奏曲は、「夢見たものは」、「ジプシーの歌」、「北大校歌」、終わりのないアンコール曲等々20数曲を61名で歌います。男声合唱です。バス安達さんが出演します。
☆聴きにきていただける方にはチケットを贈呈いたします。
- ★ 赤羽その子「うたぶえスプリングコンサート&春のフレンチディナー2016」 4月23日(土)
開演18:00 会場:フランス料理レニエール 5,000円(コース料理&1ドリンク付)
赤羽その子先生のキーボード弾き語り、本多悦子先生のリコーダーがディナーと共に楽しめます。
◎申込みは直接、フランス料理「レニエール」 TEL:027-322-2341へ

◆ 「すみだ5000人の第九」に参加してきました アルト:宮川陽子

28日(日)に国技館すみだ第九に行ってきました。高崎第九からは男声5名女声7名の参加でした。国技館で5000人の第九コンサートは、私の予想をはるかに超える規模でありましたが、世界中で多くの人々が歌い続けていることを、まざまざとみせつけられた一日でもあったようです。

第一部 すみだ少年少女合唱団も加わり ビゼー作曲歌劇カルメンより

第二部 交響曲第九番

ソリストバリトンの福島氏の声に聞き惚れてしまいました。
また5000人の第九合唱は圧巻であり力強さを感じました。
愛と平和のメッセージを発信できたことを確信して国技館を後にしました。『ちゃんこ霧島』の宴会では、美味しいちゃんこ鍋を囲み、親交を深め帰路につきました。幹事の深町さんはじめ参加した皆様お世話になりました。



◆ 今月のお誕生日(予告) **3月生まれの皆さん おめでとうございます!**



友田 好明(2日/B)、五十嵐 洋子(3日/S)、高橋 弥生(6日/S)、
馬場 あい子(13日/A)、羽鳥 幸子(14日/A)、有貝 松代(15日/S)、
安達 清美(18日/賛助)、中山 さち子(20日/A)、
ユリヤ レヴ(21日/P)、富田 満智子(25日/A)、品川 恵子(26日/A)、
原 高峰(27日/A)、竹内 沙耶香(28日/A)、臼田 順子(30日/S)

※ご自分のお誕生日掲載を希望されない場合は受付にお伝えください。

メイコンサート取組曲への投稿

◆「箱根八里」の詞の解釈について（ソプラノ：春山さん）

赤羽先生から既に説明がありましたが、後で読み返せるようにと春山さんが調べてくださいました。

＜箱根八里の意味：解釈＞

【第一章 昔の箱根】

箱根の山はこの国中で一番の険しい所。中国長安の険しい谷合に設けた関所も物の数ではない。非常に高い山（1丈は約3.3m）、非常に深い谷（1仞は2m弱）、万丈の山がそそり立ち、後に千仞の谷が八里道を支える。雲は山を横切ったり、山頂をかすめて流れ、霧は蓋をした様に谷底を隠して湧き立っている。日中でも木の闇で暗い杉並木。羊の腸のように曲がりくねった小道。苔が一面にむして滑り易い。兵が関所の護りにつくや万の兵が攻めても落とすことが出来ない要害。国中を旅する武家は腰に刀を差し、素足に高下駄を踏み鳴らす。この様なものであったらう往時の武士、昔の侍は。

【第二章 今の箱根】

箱根の山は、国一番の険しい地形、陰阻な道。中国三国志の時代、劉備は魏の曹操に追われ、四川省に逃れる為断崖に沿って栈道を作り、四川に入り＜蜀＞を建国した。以後＜蜀の栈道＞

は、諸葛孔明に戦略として利用される。吊橋のたぐいと思われがちだが、棒杭をピトン（ハーケン）の様に崖に打ち込んで繋げていく道の事である。山道の急カーブを曲がると前が険しい山、後が深い谷という光景が出現する。（前出）

江戸時代、箱根山中で狩りをする事は関所があった為厳しかった。明治に入って自由となり、壮健な者達が狩りを行った。意気盛んな若者、近時は＜健児＞と漢字表記するものもある。明治34年頃は、元込め式の猟銃、スタイルはニッカボッカにブーツ、ハンチング帽で山野を駆け巡った。この様であって欲しいのだ、近頃の壮士は。

◆「箱根八里」の歌に関する思い出

バス：大里和熙

- ① 赤羽先生のお話にもありましたが、昔（私が小学生の頃）の運動会の最後を飾る「棒倒し」は、6年生（当時は学年250名くらいの男児でした）が棒を担いで、「箱根の山は・・・」と歌いながら入場しました。低学年の私は、その勇壮な姿に憧れを感じました。しかし「戦時色復活！」の声が出たのでしょうか？私が6年生の時は「箱根八里」無し、通常の行進曲で入場でした。今でも残念に思います。
- ② 私が子育て中の話です。息子2人を風呂に入れ、最後に暖まる時「箱根八里」を2番まで歌わせました。詞の意味を解説し、2番まで歌うと息子達は真っ赤になり、以降は歌う事を拒否しました。ひどい親でした。

◆「浜辺の歌」の詞を全く理解していませんでした！ バス：大里和熙

先日浜辺の歌の詞を先生が説明してくださるまで、全く、その内容を理解していなかったことに気づきました。何回歌ったか解らないのに。インターネットで調べてみました。湘南辺りのサナトリウムに入っていた頃の林古溪の思いが歌になっていると有り、幻の4番、その幻を一部繋げ、消え去った3番があるとのこと。1、2番しか知らなかった私は、感性に乏しい少年のまま今に至っていたことに気づきました。今でも遅くない、知って良かったです。

◆オペレッタ「マリーザ」のあらすじ解説

バス安達さんが、インターネットを泳ぎ回り、「あらすじ」をまとめてくれました。以下に紹介しましょう。

安達さん感謝！本資料では「マリーザ」でなく、「マリツア」と表記しています。

【第1幕】

ハンガリーの名家の当主、マリツア伯爵令嬢の館では、ウィーンで貴族のたしなみを学んでいるマリツアの帰宅が間近。館を守る老僕チェッコ爺のかつての主人、タシロ・エンドローディ・ヴィッテンブルグ伯爵は、零落の身を隠し、執事としてマリツアの館に仕えている。彼の心の支えは、幼い日、マリツアと交わした小さな結婚の約束だ。ウィーンからやってきたタシロの旧友、カール・シュテファンは、マリツアと共に、タシロの妹リーザが館を訪れることを告げる。

マリツアの帰宅。そして、タシロとリーザの再会。兄妹は、貴族としての誇りゆえに、その素性と関係を隠さねばならない。リーザの変わらない笑顔に、タシロの心は和む。マリツアは、自分の財産目当てに群がる男達を振り払うために、架空の人物、コロマン・ジュパン男爵との婚約発表をでっちあげる。マリツアに想いを寄せるポポレスク男爵は、婚約発表が偽りと知って胸をなで下ろすが、そこに、実在したコロマン・ジュパン男爵が出現してしまって、場は大騒ぎになる。マリツアはタシロのことを思い出すこともできず、ひたすら華やかなパーティに溺れている。一同がパーティに去った後、やるせない想いを歌うタシロ。その歌声を聞きつけたマリツアは、来客の前で歌を披露することをタシロに強いる。しかし、タシロはこれを拒絶し、マリツアの怒りをかう。

来客達が、歓楽街、タバリン(タバランとも言い、踊場の事?)に繰り出そうとした時、ジプシーの女、マンニャが突如現れる。マリツアに、恋の訪れを予言するマンニャ。高貴な血筋の男との激しい恋。いぶかるマリツアは、その心の高ぶりを鎮めるために館に一人残り、タシロと一瞬、心を通わせる。

【第2幕】

どこか高貴な、そして高潔な血を感じさせるタシロ。かすかな幼い日の記憶に導かれ、彼に次第に惹かれていくマリツア。そしてその傍ら、ひたすら調子のいい、しかし憎めないジュパンに、好意を持ち始めるリーザ。真実の恋を語るタシロに、マリツアの心はいつしか開かれ、二人は永遠の愛を誓いあう。

マリツアと結ばれる喜びをカール・シュテファンへの手紙に綴るタシロ。しかし、その手紙を覗き見たポポレスクは、タシロとリーザが恋人同士で、共謀してマリツアの財産をだましとろうとしていると誤解する。

タシロの件の手紙を見せられ、猜疑心に捕らわれ激怒するマリツア。来客の前で面罵され、自分の心を信じようとしないうマリツアに絶望したタシロは、自らの身分と、リーザが実の妹であることを明かし、マリツアのもとを去ることを決意する。

【第3幕】

マリツアのもとを離れるというタシロの決意は固く、誤解が解けて後悔しているマリツアの落胆は激しい。そこに現れるタシロの伯母、ボツウェーナ侯爵婦人。彼女はタシロのウィーンの屋敷が買い戻されたことを告げに来たのだ。喜ぶリーザ。しかし、これでリーザもハンガリーを離れ、ウィーンに戻らねばならなくなってしまう。どうしてもリーザと離れたくないジュパンはここで一世一代のプロポーズ。いつもせっかちに事を進めようとするジュパンに一度は反発するリーザだったが、自分の内に芽生えたジュパンへの恋心にも逆らえない。はにかみながらもジュパンからの結婚の申し込みに頷くリーザ。

一方、マリツアとの溝を深めてしまったタシロは、ボツウェーナ侯爵夫人の説得もなかなか聞き入れようとしないう。マリツアとて同じこと。とうとう、タシロはマリツア宛てに1通の手紙を残しこの屋敷を出て行こうとする。

別れ際に、幼い頃の思い出の歌を口ずさむタシロ。それに和すマリツア。マリツアの心に、子供の頃のあの約束がよみがえる。出て行くタシロを止めるすべもなく、1通の手紙を渡すマリツア。お互い別れてから読むように・・・と残したはずの手紙だったが、酸いも甘いも心得たボツウェーナ侯爵夫人とポポレスク男爵は、2人の本当の心はお見通し。タシロが出て行く前に、それぞれの手紙を開封させてしまう。そこには2通とも「心から愛しています」のメッセージが。誤解がとけ、意地を張り合う必要もなくなったタシロとマリツアは、やっと本当の思いを告げあい、しっかりと結ばれる。

幼い頃の婚約のしるしの首飾りを、どこからともなく現れたマンニャが差し出す。改めてマリツアの首にそれを飾るタシロを、大喜びで見守るジュパンとリーザ。2組のカップルを祝福する村人たちの宴は、いつまでも止むことがなかった。

如何ですか？オペレッタの筋(たいした筋では無いが)を少しは認識できたでしょうか？「マリーザ」の4曲、一通りさいりましたが、イマイチ解らなかった所も、少しは解りましたでしょう。でも、1・2曲目は第1幕のしかるべき所と解りますが、3・4曲目は何処でしょうね。Youtube に2時間半くらいの、ドイツ語のDVDがアップされていました。それを全部観て、ダウンロードもしましたが未だ解りきっていません。先生！教えて！！(大里)

◆赤羽楽器閉店のニュースがNHKで放送されました

2月29日、103年に及び高崎の音楽文化を支えてきたとも云える、赤羽楽器店が、閉店の日を迎えました。午後4時NHKのテレビが入りその様子を取材、3月1日(火)7:45から「おはよう日本、関東甲信越」と18:40からの「ホットぐんま640」として放送されました。

第九合唱団、JOYなど赤羽先生にお世話になっている合唱団有志もたくさん集まり、皆で「赤とんぼ」を歌い閉店に彩りを加えました。歴史の1ページが閉じたという事でしょうが、高崎の音楽文化を盛り上げる、赤羽楽器のDNAは先生を通じ、私達の手でも永遠に引き継がれるものと思います。

長きにわたり、本当にありがとうございました。

